まちのわだい

夢へのシンボルに

大谷翔平選手からのグラブ贈呈　1月18日

1／児童会長の上平千仁さんがグラブを代表受領　2／届いたグラブに興味津々の児童　3／交代をしながらキャッチボール　4／内側に大谷選手のサインが印字された大きさの違う右利き用グラブと左きき用グラブ。

岩手県出身のメジャーリーガー大谷翔平選手が、全国の小学校に寄贈すると発表していたジュニア用のグラブが、市内の全小学校に届けられました。

来内小学校では、冬休み明けの１月18日「野球を楽しんでもらい、夢に向かって努力していく自分を勇気づけるシンボルにしてほしい 」 とメッセージカードが添えられたグラブが児童に手渡されました。

子どもたちは早速キャッチボール。野球をしたことがない子も多く、とまどいながらも、笑顔で楽しみました。野球チームに所属する６年生の上平千仁（かみたいらかずはる）さんは「グローブは使いやすく、大谷選手からの気持ちが込められていると感じました。自分も夢を持ち、目標に向かって頑張ります」と目を輝かせました。

気持ち新たに書き上げる

書初め　1月8日

真剣な表情で書初めに取り組む参加者

道の駅久慈やませ土風館で書初めが行われ、51人が参加。新年の抱負や思い思いの言葉を筆に力を込めて書きました。市内企業に勤める外国人が招待され、アフニ・オクタフィアニさんは「一番大事な夢という字を書きました。面白かったです」と満足げな表情を浮かべました。

思いを紡ぐ文化祭

第31回久慈地区高等学校総合文化祭　1月12、13日

テーマは「蒼き海琥珀の大地に恵まれし私たちが紡ぎゆくは文化の絆」

管内の高等学校が、展示や茶道、舞台の部門に分かれ、日頃の成果を披露しました。テーマ部門で最優秀賞を受賞した久慈高等学校２年の木村珠妃（たまき）さんは「平和や生まれ育った大切な場所など、思いを込めた作品。全員に文化祭を楽しんでもらえたらうれしいです」と語りました。

元気にふれあいユニカール交流

ふれあいユニカール大会　1月6日

元気はつらつ！さあどこに止まるかな～

長内地区教育振興協議会が長内市民センターでふれあいユニカール大会を開催。幅広い世代の37人が参加し、交流を深めました。参加者はチームに分かれ、リーグ戦で対戦。狙った場所にストーンが進んだ好プレーでの決着に、会場からは大きな歓声が上がりました。（大石）

楽しいメニューいっぱい大盛況の小正月行事

夏井の小正月行事　1月7日

岩手県無形民族文化財指定の夏井大梵天神楽を観賞

夏井市民センターで、餅つきやみずき飾りなどが行われ関係者や親子連れなど約80人が、ひと足早い小正月行事を楽しみました。子どもたちは、お振る舞いのあんこ餅を頬張り笑顔。大型かるた取りや羽子板などの昔遊びに大はしゃぎし、大満足の一日を過ごしました。（梅沢）

広報担当やリポーターが、皆さんのところにおじゃまします。
地域の行事など、身近な情報をお寄せください。
地域づくり振興課　広報くじ担当　☎52-2116　FAX52-3653

梅沢　政隆 リポーター

大久保勝男 リポーター

食も湯も楽しめる温泉

新山根温泉べっぴんの湯　12月25日

地産の食材を使った料理に舌鼓を打つ参加者

新山根温泉べっぴんの湯が、館内の見学や試食会を開催。関係者ら約15人が改装した宿泊棟や工夫を凝らした料理などを堪能しました。萩生田正昭総支配人は「日帰りの団体利用も増えている。地元の食材を使った料理や東北随一の温泉を楽しんでほしい」と思いを語りました。

気持ちを新たに鏡開き

三船十段記念館鏡開式　1月8日

よいしょ！の掛け声に合わせ餅をつく道場生

三船十段記念館で鏡開式が行われ、道場生約50人が参加。寒稽古を終えた子どもたちが笑顔で餅つきを行い、お汁粉やお雑煮などを味わいました。小学生キャプテンの四作楓来（しさくかえら）さんは「練習でいろいろな技にチャレンジできました。全国大会を目指し頑張ります」と語りました。

安全と豊漁を願う

久慈市営魚市場大漁安全祈願祭・初セリ　1月4日

達増知事ら関係者で鏡開き

久慈市営魚市場で１年の安全と豊漁を願う祈願祭が行われました。遠藤市長は「水産業は市の基幹産業。全国的に水揚げが厳しい状況ですが知恵を出し合い難局を乗り越えていきたい」とあいさつ。餅まきや鏡開きのほか、初競りも行われ、多くの新鮮な魚が競り落とされました。

元旦は水族館でゆったりと

久慈地下水族館もぐらんぴあ　1月1日

水槽や展示を楽しむ来場者

もぐらんぴあが、元日に特別開館を実施。来場者は、お正月飾りがあしらわれた水槽や館内を楽しみました。北海道から家族と訪れた６歳の太田結斗（ゆいと）くんは「ドクターフィッシュがお気に入り。かめ吉にも会えてうれしかったです。また遊びに来たいです」と笑顔を見せました。

100年以上続くなまみっこたぐり

なまみっこたぐり　1月15日

「なまみ」は生足や膝、「たぐり」は語らいを表します

大尻地区で100年以上も続く昔ながらの風習「なまみっこたぐり」。ハロウィーンのように菓子をもらって歩く、小正月行事です。子どもたちは玄関先で「なまみっこをたぐらせでごじゃぁーせ」と大きな掛け声。袋いっぱいに菓子を抱え、笑顔で伝統行事を楽しみました。（八木沢）

子どもたちの安全を願い

通学路の環境整備作業　11月28日・12月6日

ワイヤーで倒す向きに注意しチェーンソーで伐採

小久慈まちづくり協議会が、子どもたちの安全を願い、小久慈小学校前の県道沿いの環境整備を行いました。通学路や横断歩道付近の視界を遮る立木を伐採。最大で直径50㎝もある立木約10本の伐採や草刈りを実施し、安全に通学できる見通しの良い状況に整えました。（大久保）

八木沢万寿美 リポーター

小渡　正利 リポーター

大石　純夫 リポーター